

中学生に打撃技術を

江別ブルーインズが野球教室

【江別】市内の社会人野球チーム「江別ブルーインズ」の選手らが中学生

生たちを指導する教室が、市内の飛鳥山公園で開かれた。市内の6校から計約90人が参加し、走塁や打撃練習を通して、技術を磨いた。

江別野球連盟が主催し、7日に実施した。ブルーインズの西垣類監督や宇佐美公貴選手らのほか、札幌や岩見沢の社会人チームの監督ら計7人が講師を務めた。

西垣監督が生徒たちに「うまくなりたいという気持ちで、どんどん質問して」と強調。生徒たちはティーバッティングなどの打撃練習などに励み、講師は見本を見せな

がら、1人ずつにアドバイスするなどした。

大麻東中野球部で主将

を務める2年生の坂口想太さん(14)は「新たに多くのことを学べ、貴重な体験だった。教えてもらったことを意識して、チーム全体で実践していきたい」と語った。

(原田廉)



社会人野球チームの監督ら講師が投げた球を打つ中学生たち
(江別野球連盟提供)